

よきおとずわ

CATHOLIC NAGASAKI MONTHLY

カトリック長崎大司教区報

①一般の意向：召命の促進者としての信徒
②宣教の意向：宣教する教会
③日本教会の意向：観想生活者のあかし

日本カトリック神学院
福岡キャンパス開校式

長崎教会管区の司教
・司祭がミサに集う

4月3日午前11時から行われた福岡キャンパス（福岡市城南区）開校式のミサには、長崎管区から高見三明長崎大司教、宮原良治福岡司教、郡山健次郎鹿児島司教、押川壽夫那覇司教が出席し、日本カトリック神学院の初代院長となる牧山強美神父はじめ神学院教授の神父ほか管区内の司祭たちと共にミサをささげた。

参列者席には福岡キャンパス開校を祝うために集まった信徒、修道者、新たな気持ちで神学院生活を始める東京・福岡キャンパスの神学生が心を合わせて歌い、祈った。主司式は福岡教区の宮原司教が務めた。

する神学院の学生たちを前に、「新しいぶどう酒は、新しい革袋に入れるものだ」(マタイ9・17)というみことばに触れ、ぶどう酒(ワイン)は赤だったのか、白だったのかと問われたら、みことばの豊かさを損なわない解釈は「どちらにもこだわらないことだ」と指摘して、こだわりを捨て、本質が何かを見つめてこれからの神学院生活に入ってほしいと呼び掛けた。

また、日本の教会全体が新しい日本力トリック神学院から育つ司祭の豊かさにあずかるために、



あり、巢立つていく司祭の中でも交流がなかっただけに、この日の宮原司教の説教は示唆に富むものとなった。

日本カトリック神学
院 初代院長の謝辞

ミサの最後に、日本カトリック神学院の院長牧山神父が、この日の開校ミサに参列した司教、司祭、修道者、信徒に心からの感謝の気持ちを述べ、先に行われた東京キャンパスでの開校式の様子を紹介した。

日本司教団は5月19日付の申請書をもって、「日本カトリック神学院」の設立を教皇庁福音宣教省に申請。11月18日付の法令により教皇庁福音宣教省より「日本カトリック神学院」設立許可を得る。▼2009年(平成21年)

聖火曜日（今年は4月7日）に「司祭職の日」を迎えた。この日、浦上

でを「司祭年」と定めたことに触れ、キリストと司祭職への忠実について集まった全司祭と会衆に語り掛けた。ミサ中、病者の塗油の油、洗礼志願者の油、洗礼・堅信のための油が高見大司教の祈りによって聖別された

いを両親が抱いていたとを司祭に叙階された直後に知らされた話を「初めて公にしました」と打ち明けてくれた。

濱田神父は東京の神田教会で当時の土井辰雄太司教に叙階された思い出と、ヨハネ・パウロ2世

銀祝を迎えた中村満神父は、兄弟司祭に支えられて25年を迎えられたこと、金祝の先輩を目標にこれからも一歩ずつ進みたいとの新たな決意を述べた。同じく岩崎康彦神父は「良いこともそう

先に「神学校に行きませんか」と声を掛けてくれたので、「行きます」と返事をしたらその場で主任神父さまが「だめだめ!」その子は教区にやるとやけん」と司教さまを制止した。指輪をして、赤い帯をした偉い人に引かれ

宮原司教（写真）は説教の中で、新しい出発を

それは、それだけで立派なものであった。これまでは司祭養成は、「東京は東京、福岡は福岡」という雰囲気があった。

自己紹介があった(写真
ユニークな紹介もまじつ
て、聖堂のあちこちから
歓声が上がった。

2・3年生からそれぞれ分かれて生活し、新年度を開始。

司式のもと、聖香油ミサがささげられた。

説教の中で大司教は、

教皇ベネディクト16世が

田盛雄祐父が大正時代の主
祝いの言葉を受け、それ
ぞれ50年を振り返って工
ピソードを披露した。ア

教皇が来日して、聖母の騎士修道院を訪問する予

さつした金襴・鍔袴の
司祭には大司教から記念
品が贈られ、にぎやかな
会食が続いた。

る。圧倒的な存在感と再挑戦に見合う魅力的な道であること。両面からアピールが必要だろう。

ミサの最後には、出席した4人の司教の祝福と派遣を受けて、開校式ミサを終えた。福岡キャンパスの聖堂正面で集合写真を撮影し、この地でが司祭養成の新たな一歩が刻まれた。

6月19日から1年間
「教皇「司祭年」を告示
 3月16日(月)、教皇ベ
 ネディクト16世は、教皇
 庁聖職者省総会参加者へ
 の謁見において、「アル
 スの司祭」聖ヨハネ・マ

大司教区昇格50周年
の教区報記事から～

教区長高見三
明大司教が「復
活教書」に触れ
た通り(※)、1
959年5月に
長崎教区は九州
の首都大司教座

同年7月の教区報には、長崎県知事、長崎市長、商工会議長会頭らによつて發起された、山口大司教昇任祝賀パーティーが開かれ、大司教は「長崎大司教区内全信者の名を

東京大司教区と長崎大司教区との2大司教区に収められることになった。

この日山口大司教は説教の中で「長崎教区が400年の信仰の伝統を重視されて、□ーマ聖座を

日本カトリック神学院
がスタートした。神学生
は東京と福岡のキャンパ
スを合わせて45人。6学
年、しかも日本の16教区

神学院合同までの歩み

659年)の没後

はその50周年の

げます」と述べている。

たのであるが、私たちの

な比較は無理だが、20年

長崎教区の大司教区昇格50周年
～昇格当時の教区報記事から～

によると、昇格と同時に
パウロ山口愛次郎司教は
長崎大司教に任命された。

司教座聖堂大浦天主堂で
行われたことが記され、
これによって日本教会は

よい信者になると共に、信徒使徒職活動などに積極的に参加すること

を変えなければ、司祭を
目指す神学生は増えない
に違いない▼では、数が

執書を朗読する古川重吉 副司教
(1959年10月1日 カトリック教報)

聖座の期待にこたえるようにしたい」と全教区民に訴えている。

(※「よきおとずれ」4月号では、昇格50周年の記念日を「5月4日」としておりましたが、正しくは「5月14日」です。訂正してお詫びいたします。)

と言われそうだが、多岐にわたる養成を受ける占は今も昔も同じ。数が多い方が絶対に有利である。背に腹は代えられないのだし、できることは積極的に取り入れるべきだ。思い付いたことを2つ書いておきたい▼31年前、小学6年生の時に神学生

長崎大司教区現勢統計表 (2008年12月31日現在)

地 域 ……	長 崎 県	小 教 区 ……	71	信徒数	司祭・他	計
面 積 ……	4,104平方キロ	準小教区 ……	1	2006年度 (総数) 64,340人	1,074人	65,414人
県 人 口 ……	1,469,197人	巡 回 教 会 ……	60	2007年度 (総数) 63,681人	1,073人	64,754人
カトリック ……	(総数) 64,216人	集 会 所 ……	1	2008年度 (総数) 63,165人	1,051人	64,216人

小教区名	信 徒 総 数			世帯数	洗 礼			ミ サ 参 加 者			結 婚			死亡者
	男	女	計		幼 児	成 人		主 日	復活祭	降誕祭	信者 同土	信徒・ 他宗教	他宗 同土	
浦 上	3,108	3,870	6,978	1,510	32	11		3,000	4,000	5,000	6	32	3	62
稲 佐	414	490	904	296	4	3		300	400	500	1	2	0	9
城 山	1,242	1,452	2,694	765	14	7		750	950	1,200	4	5	1	25
西 町	1,124	1,330	2,454	783	13	12		800	1,500	1,500	2	4	1	17
本 原	976	1,166	2,142	520	18	16		700	1,000	1,200	1	12	0	16
三 ツ 山	134	174	308	74	3	1		180	230	250	1	2	0	1
中 町	571	753	1,324	451	3	1		300	350	500	2	12	1	18
神 ノ 島	206	266	472	168	0	3		250	300	400	0	0	0	9
木 鉢	448	548	996	284	10	6		350	500	600	2	4	0	7
飽 の 浦	818	1,054	1,872	510	6	0		550	700	900	1	0	0	24
本 河 内	69	96	165	51	0	1		80	100	130	1	0	0	3
八 幡 町	175	239	414	125	1	1		120	130	180	0	2	0	5
愛 宕 町	283	500	783	223	2	3		170	300	450	0	2	0	10
大 浦	314	413	727	316	9	1		220	310	310	1	12	15	8
大 山	131	169	300	80	1	0		150	200	200	0	1	0	3
小 ケ 倉	331	428	759	247	1	1		300	360	330	0	1	0	5
深 堀	581	659	1,240	361	6	5		300	350	450	0	4	1	5
香 焼	230	275	505	175	2	0		200	300	350	0	0	0	4
馬 込	166	254	420	216	1	1		160	200	180	0	1	0	6
滑 石	1,477	1,611	3,088	759	8	2		750	300	950	1	2	1	12
出 津	336	422	758	241	8	1		320	450	620	1	0	0	16
黒 崎	397	439	836	257	1	0		250	300	350	0	3	0	13
時 津	519	578	1,097	311	3	3		350	700	700	1	1	0	10
長 与	472	523	995	318	6	2		220	320	420	1	3	0	2
東 長 崎	596	738	1,334	342	8	5		350	550	650	2	0	0	7
植 松	783	867	1,650	475	7	4		600	700	1,000	5	9	0	12
水 主 町	306	342	648	218	4	6		200	300	300	0	3	0	8
諫 早	489	585	1,074	305	2	0		350	450	500	0	5	0	4
愛 野	18	42	60	28	0	0		20	30	100	0	0	0	0
島 原	80	88	168	77	0	2		40	100	200	0	3	0	2
湯 江	77	276	353	44	1	2		276	270	265	1	1	0	14
三 浦 町	510	673	1,183	383	8	8		400	500	600	1	3	0	10
鹿 子 前	316	385	701	188	3	0		200	250	300	0	3	0	11
俵 町	344	383	727	223	6	4		250	300	350	3	2	0	6
大 野	522	586	1,108	320	3	0		250	350	450	0	2	0	10
相 浦	535	637	1,172	478	8	2		400	500	600	0	6	0	6
浅 子	445	456	901	242	5	0		400	600	600	0	2	0	6
黒 島	254	282	536	227	4	4		300	450	450	0	0	0	18
太 田 尾	170	140	310	116	0	0		150	250	250	0	2	0	2
神 崎	833	873	1,706	360	11	3		500	800	900	4	7	0	9
褥 崎	409	381	790	215	7	3		340	500	600	0	2	0	8
大 崎	241	318	559	133	9	0		280	360	400	0	5	0	5
天 神	221	270	491	150	3	0		100	150	200	0	0	0	7
早 岐	260	300	560	170	2	4		200	250	250	1	0	0	8
平戸パピエル	341	404	745	238	1	2		250	350	400	0	6	0	4
上 神 崎	257	263	520	156	1	1		250	350	300	0	4	0	3
宝 亀 平	189	199	388	89	3	1		200	280	300	0	2	1	10
田 平	354	412	766	224	2	1		400	650	700	1	2	0	9
紐 差 場	584	706	1,290	300	3	0		550	850	850	0	2	0	6
西 木 口	314	330	644	201	0	0		250	300	350	0	0	0	11
平 戸 口	319	431	750	221	7	2		230	350	400	0	1	0	10
山 田	137	187	324	62	5	0		150	300	300	0	0	0	0
青 方	151	173	324	112	2	2		200	300	300	0	1	0	2
大 曾	193	181	374	127	2	0		220	350	350	1	0	0	6
青砂ヶ浦	582	632	1,214	371	8	1		380	600	600	1	2	0	4
丸 尾	214	210	424	129	2	2		200	300	300	1	0	0	5
仲 知	143	159	302	149	0	0		200	230	250	1	0	0	5
曾 根	292	285	577	204	1	0		350	400	400	1	0	0	2
鯛 ノ 浦	381	471	852	210	7	3		300	450	500	2	1	0	8
浜 串	232	234	466	202	0	2		300	350	400	3	0	1	7
桐	268	294	562	207	3	1		220	300	350	0	1	0	5
真手ノ浦	224	175	399	134	2	0		150	250	200	0	1	0	4
土井ノ浦	199	212	411	84	1	0		120	180	220	0	0	0	3
福 江	616	622	1,238	464	12	5		700	900	1,000	2	2	1	16
浜 脇	59	54	113	41	0	0		50	85	85	0	0	0	1
浦 頭	202	292	494	213	3	3		200	300	350	0	3	0	6
奈 留	187	217	404	130	2	2		100	200	200	0	0	1	2
水 の 浦	312	330	642	177	2	2		300	450	450	1	3	0	10
三 井 楽	131	215	346	150	0	0		250	350	380	0	0	0	5
貝 津	72	97	169	64	0	0		80	110	110	0	0	0	3
井 持 浦	81	84	165	60	0	0		50	80	100	0	0	0	5
合 計	28,965	34,200	63,165	18,454	312	158		23,026	31,525	36,780	57	191	27	595

巡礼センター
ガイド養成講座
『心に響く
ガイドを目指して』
五島地域の雇用促進の
ためのオフショナルガイ
ド育成講座の委託を受け
た長崎巡礼センターでは
「心に響くガイド」をし
てほしいと願ひ、昨年末
と今年、受講者の現地研



2009年5月17日(日) 13時30分～
雲仙メモリアルホール

修で、五島市では久賀島
の細石流集落跡、新上五
島町では桐古里郷の屋ノ
浦集落跡を訪れた。
山の斜面や海岸近くの
木立に隠れて住居や教会
堂が痕跡をとどめ、懸命
に生き、信仰を伝えた
人々の生活を、厳しい立
地に感じるカトリック集
落跡である。屋ノ浦
の共同墓地では、中
村 満神父の先唱で
参加していた信徒が
「主の祈り」を唱え、
法螺貝を吹き鳴らし
た写真。五島では
教会で鐘の代わりに
法螺貝を使っていた
時代があった。その
音色に「おえつ」のよ
うな響きが時をさか

のぼらせ、胸が震えた」
とのスタッフの声も聞か
れた。
宗教を超えて参加した
方々がこのような経験や
感動を通して、五島キリ
シタンの生きざまを心を
込めて伝えてくれること
を期待している。

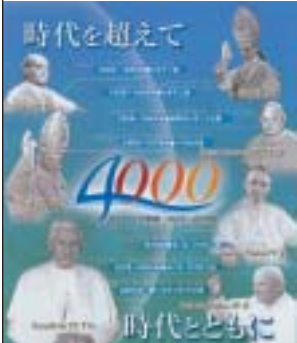
初日17時～翌日15時
TEL 095(821)4577
▼「殉教者の末裔たち」
中倉壮志朗写真展 5月
23日(土)～26日(火) 9時
22時 アルカスSASE
BO 交流スクエア
▼長崎南地区評議会主催
「パウロに会いに行こう」
5月24日(日) 13時～14時
15分 中町教会聖堂 パ
ウロによる救いの教え”
話し・山川 忠師 ※信
徒会館で資料展も開催中
▼パウロ年講演会「パウ
ロを学ぶ」 5月31日(日)
ミサ(9時)と講演
(10時～12時) カトリッ
クセンターホール 講
師・鈴木信一師(聖パウ
ロ修道会) 入場無料
教区連合婦人会主催

▼「共に歩む旅」(旅程)入
門講座 6月2日～30日
の毎週火曜日(全5回)
19時～21時 中町教会信
徒会館 3千円
問合先・(5月24日締切)
小共同体推進室
TEL 095(842)4450
▼公開聖書講座「聖パウ
ロの『福音』について」
6月11日(木) 19時～20時
半 カトリックセンター
講師・高見三明大司教
前売券800円
問合先・生涯養成委員会
TEL 095(841)7731
●梅田タマエ様(浅子)
長崎カトリック神学院
●匿名様(浦上)

●梅田タマエ様(浅子)
右の方々からご寄付を
賜りました。お礼とご報
告を申し上げます。
香典返し
お礼とご報告
長崎コレジオ
●横崎好章様(俵町)
故ルチア横崎ミネ様
長崎カトリック神学院
●山内里美様(田平)
故アグネス
●山内キミエ様
故マリア鶴崎イトエ様
●山口亮子様(三浦町)
故マリア平山ミヨ様
右の方々から神学生養
成のために、香典返しに
代えてご芳志を賜りまし

た。お礼とご報告を申し
上げますとともに故人の
ごめい福を心からお祈り
申し上げます。

おかげさまでカトリック新聞は創刊4000号



神に感謝！
創刊から86年、
4月19日付で4000号達成！
日本のカトリック教会の輝
かしい記録です。諸先輩、
購読者に感謝申し上げます。
唯一の全国ネットの教団新
聞、皆様の信仰生活の支え
に、励ましに今後ともご購
読ください。

週刊/1年9,480円 半年4,740円 ☎03-5632-4432
〒135-8585 東京都江東区潮見 2-10-10 日本カトリック会館5階
http://www.cwjpn.com/ カトリック新聞社

タンスの中身は入れたまま
責任ある安全運送!!
(見積り無料・荷造り発送
も致します)
貨物保険有り
・一般引越
・小荷物
・遠距離
・学生引越
・ピアノ運搬
24時間営業・年中無休
受付時間 7:00～22:00
水 浦 運 送
シモン 水 浦 幹 雄
長崎市上野町12-3
TEL(095)847-7151
844-1420

砕石・栗石・港湾用捨石一式生産販売

たつみ産業株式会社
西田商事株式会社

代表取締役 ミカエル 西田 寛己
本社 〒857-1166 佐世保市木風町1468番地
TEL (0956) 31-8268

ハマチ・タイ養殖、アジ・イワシ加工、中型旋網

エテルナ・ワコー(株)

代表取締役 ミカエル 溝口 美 義
〒858-0926 佐世保市大湊町586
TEL (0956) 47-4380

なが さき せき ちょう

長崎石彫

ヨゼフ 岩永 博明
☎(095) 862-2469
長崎市梁川町 6-17 岩永ビル

石 碑
墓地工事
写真彫刻
墓地分譲

マイホームの美容と健康に！

(有) 山 川 塗 装

有限責任中間法人 全国住宅火災防止協会
長崎県建物営繕工事業協同組合理事

代表取締役 ペトロ 山川 進
佐世保市原分町1715-5
TEL(0956)49-3330 FAX(0956)49-8729

復活祭に水産業「安全祈願祭」

― 梶崎教会

梶崎小教区(主任川口昭人神父)では毎年、航海の安全と豊漁を願い安全祈願祭が行われる。水産業を営む家族が多い梶



まことに勇壮。漁から戻った弟子たちを、復活された主が岸辺で迎えてくれる福音

個所が読まれ、漁船と船員たちは司祭から聖水をかけられて操業の安全が祈願された。その後、豊漁を願って鯛やブリ、ふぐ

崎教会では一大行事―。今年は4月12日、復活の主日に行われた。大漁旗を掲げた船が30艘余り漁港に並ぶ光景は



神学院、修道会の2009年度の新入生氏名は次の通り。
▼日本カトリック神学院 哲学科1年

2009年度 神学院、修道会、新入生を迎える

稲田 伸也(諫早)

山内 啓輔(田平)

▼長崎コレジオ 大学1年

龍甲屋賢治(中野)



ド・ロ神父の漫画本、長崎市内の書店でランキング上位に。神父との「出会い」。前長崎大学の助産師徳永瑞子教授(ナイチンゲール記章受章者)に信仰の故郷外海へ連れて行ってもらったときの印象。さらには、元長崎大学



産婦人科婦長・加藤奈智子先生との出会い。先生とはド・ロ記念館を訪ね

などが放流され(写真)、漁協で復活の主日のミサがさげられた。

親睦会では、迫害から逃れて移り住み、小船でほそぼそと、しかしたくましく生計を立ててきた先人達の姿に思いをはせつつ絆を深め合う漁師たちであった。

つじの咲き誇る名串山公園からは九十九島を一望できる。海上パレードのごとく漁船が次々に船出していく姿は、訪れていた観光客の目を楽しませていた。

初聖体の恵み

― 中町教会

復活祭を祝う4月12日、中町教会で長崎市居住の

小学生・西澤永遠、道祖尾倫、富永佳史、岩永カレンさんら4人が初聖体の恵みを受けた。4人の母さんはフイリピン共和国出身。聖堂には保護者ら関係者60余人が参列



見守った。

ミサは川口 清神父の司式で進み、聖体についての話の後、この日の準備・指導にあたった千田貞子さん(深堀教会所属)に付き添われ4人は緊張

した面持ちで聖体をいただいた。両手を合わせ熱心に祈っていた西澤君(小6)はミサ後、「ご聖体をいただいた、なにか心がやさしくなった」と、はにかみながら初聖

各地で地道な活動続く ～カリタスジャパン報告会～

3月29日カリタスセンターで、長崎教区主催のカリタスジャパン視察報告会が行われた。報告者はカリタスジャパン秘書の成井大介神父(写真)。

害、人為的災害に対する「人道援助(緊急支援)」、地域共同体の活性化と自立を通じた貧困、問題解決を支える「開発援助」

を行っているが、活動への理解を深めるためにと開かれた今回の報告会では、目的や具体的なプロジェクト紹介が語られた。2008年度の支援先(自立支援・開発支援のみをさす)は世界16カ国、21プロジェクトあり、バングラデシュにおける「少数民族教育支援」、スリランカでの「平和構築プログラム」など、長期間にわたる現地での地道な活動によって少しずつ芽生えが見受けられる。



カリタスの支援する学校で学ぶ子供たち

黒川 要(大崎) 萩原 直人(福岡・今村) ▼聖ルドヴィコ神学院 中学1年 佐野 晶(岐阜・岐阜)

宮原 大地(桐) 高松教区から1年間在籍予定 ヨゼフ・ナン(香川・桜町) ▼長崎カトリック神学院 中学1年 池田 裕輝(植松) 大山 裕貴(大山)

神学院、修道会の2009年度の新入生氏名は次の通り。
▼日本カトリック神学院 哲学科1年



この出会いが、「わたしにできることで、ド・ロさまの手伝いを」という思いに大きく膨らむ。長崎純心大学の図書館に通い、信徒発見、浦上

ド・ロ神父の生涯を描く

漫画家 西岡由香さん

展示されている女性骨盤の模型のルーツをたどるうち、ド・ロさまファンにオルガン研究家仁平利三さんとも出会った。人

四番崩れ、横浜、帰郷、海外の太陽編と構想を固め、完成までには資料調べも入ると、1年10カ月の闘いだだったという。

制作中、不思議なこともあった。トマス次兵衛神父の隠れ家(洞穴)を黒崎の山崎政行さんの案内で訪ねたときにもつた「マリアさまのメダイ」、長いこと子供に恵まれなかったといこにあげたところ、「愛のひと(発行長崎文庫社)」発売日に女の子を出産したと朗報が届いた。

「今までおとぎ話のように感じていたド・ロさまの人生がこんな波乱に満ちたものだ」と初めて知った」と、小学校の先生。

生が社会科見学の学習に「愛のひと」を使つたらしい話も聞く。ド・ロ記念館のオルガニスト橋口修道女も、「あなたの手は、神さまのお恵みですね」と称賛。

「殉教者の列福式に参加しました。隣の修道女の涙に濡れたお顔がとても神々しく美しかった。『愛の人は隣にいる人のことだ』その時に感じた思いを漫画本のタイトルに使いました。長崎市在住。長崎大学非常勤講師。

被爆者の合唱団「浦上」など2曲歌う

8・9平和祈念式典会場 長崎原爆忌「8月9日」平和公園で執り行われる被爆64周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典で被爆者歌う会「ひまわり」が昨年に続いて、今年もあの日の悲しみを歌声で合唱する。

歌う会の指導者は長崎市在住の音楽家、寺井一通さん。この4月7日から長崎県交通会館で原爆忌まで毎週火曜日の午後2時間、みっちり練習を積む。今年の入会者を含む会員は50人(64歳、うち男性は5人。ソプラノ田川照子さん(城山教会所属)は最高齢者(爆心地から1.4kmの地点で被爆、軽症)「元氣な間、歌い続けたい」と意気軒高。話していた。



聖書・信仰養成講座開講

教区生涯養成委員会が主催する今年度の講座が4月16日開講した。聖書講座(木曜日)の今年度のテーマは「ルカによる福音」。聖書をテキストとし、講師による解説で聖書への学びを深める。また、4月18日から始まった信仰養成講座(土曜日)は、教会の教えを理解するとともに生き生きとした信仰生活の体験へと導く一助となる。いずれも19時〜20時半の時間帯でカトリックセンターが会場。通年の受講受付は終了したが、1科目(1時間半、千円)からの科目聴講も可能。問い合わせは同委員会(Tel 095・841・7731)へ。

成井神父は、世界のどこかに苦しんでいる人々がいることをわがしたちが関心を持つて知って、知り続けること、その大切さを強調した。

はその一員で、日本カトリック司教協議会のもと、カトリック教会が国内・海外における社会福祉活動の推進と援助活動に貢献することを目的として設けられた。「四旬節愛の献金」運動やHIV/AIDS予防啓発活動も行っている。カリタスジャパンホームページは<http://www.caritas.jp>。

列福式会場に鳴り響いた鐘にかかわるお知らせ

昨年11月24日に行われたベトロ岐部と187殉教者の列福式開会を告げた鐘3基は、現在製作会社の方に保管されています。
【列福式で使用された鐘】
材質:特殊青銅製 サイズ(最大直径):大鐘60cm、小鐘/中鐘55cm
重さ(総重量):大鐘280kg、中鐘230kg、小鐘200kg(詳細部品すべて含む)
価格:問い合わせのこと
問い合わせ先:西田鋳物 〒850-0077 長崎県小瀬戸町809-9
TEL 095-865-3136 FAX 095-865-4346
ホームページ「西田鋳物」で検索後、お問い合わせフォームからお入りください。



声の奉仕会
マリア文庫

聖母と共に視
覚障害者のため
に歩み続けた声
の奉仕会・マリ
ア文庫。活動
奉仕発足から今
年で30年を迎え
る。

視覚障害者を支えて30年

修道院の小さ
い1室で3、4
人の信者と1人
のシスターで始
めた活動は現在
97人(20、80歳
代)の会員に増え、50
0余人の視覚障害者が録
音図書、デイジー図書を
利用している。また目の
不自由なブラジルの修道
者のために録音図書の寄
贈も続く。

感謝の礼状も多い。そ
の一通を見ると「長崎の
盲学校を卒業したことも
恵みと喜びです」。奉仕
心待ちにしています(広
島・全盲)。こうした便
りは汗する会員を励まし
マリア文庫を立ち上げ
た代表野崎博子修道女
(レズンブトリスチン女
子修道会)は「目の不自
由な方々のために、聖書
教会関係の新聞、霊的な
図書、雑誌の朗読奉仕を
させて頂くことは大きな
恵みと喜びです」。奉仕



あつて長崎の香りの詰
まった『アベ・マリヤ』
のテープが届くのを毎月

者の増田敬子さんは「40
歳代で始めた音訳ボラン
ティアも今年、後期高齢
者の一員。あつという間
の30年でした」。

マリア文庫では、活動
のためのパソコン、CD、
図書購入費のために小額
でも協力して頂けるとあ
りがたい、と話している。
振替 01810・2・
7907 声の奉仕会・
マリア文庫。(写真は長
崎市橋口町の作業現場
で)



役員によって行われた。
これは昨年、婦人会発足
75周年を迎えた記念活動
として1年間募金活動を
行い設置したもの。

募金は毎月支部役員が
各婦人会員家庭の集金、
バザー開催、巡回の岳教
会の信徒支援を受けて目
録額を達成した。

お祝いの式典では婦人
会長の辻喜美子さんが、
婦人会の歴史と、飽の浦
教会の守護の聖人がヨゼ
フさまということから聖
家族と主の降誕の聖画を
取り入れたことや、共同
体の一致と愛の絆が目で

見える形となった喜びを
込め謝辞を述べた。7人の
復活徹夜祭では7人の
受洗者があり、共同体の
仲間に加わるなど、新年
度を踏み出す教会は、大
きな喜びの復活祭となっ
た。

新刊良書

★教父

教皇ベネディクト16世著
古代教会の偉大な教師
の姿。ギリシア教父、ラ
テン教父各17人とシリア
教父2人を取り上げ、そ
の生涯と思想を紹介。歴
史の中で教会の歩みがど

のように始まり、その基
盤がいかに築かれたかを
浮き彫りにする。

★心の信心のすすめ
ベルナルド・デクルー、
クリスチャン・ゴア著
17世紀フランスから世
界中に広まっている「み
心の信心」。修道女マル
グリット・マリーとイエ
スの対話を中心に、「み
心の信心」の勧めと、こ
の信心を生んだ時代背景
などを紹介。

★徳の飾りよりも トマ
ス金鐐次兵衛物語
宗任雅子著
昨年11月刊福された1
88殉教者の1人、金鐐
次兵衛神父の波乱に満ち
た生涯、迫害の嵐が吹き
荒れる中、何を求め、何
を思い、なぜ日本に帰つた
のか。史実をたどりながら
も著者の感性が生きた生
と次兵衛をよみがえらせる。
発行 ドン・ボスコ社
定価 735円

婦人部の募金活動で
ステンドグラス(飽の浦)

4月12日、
飽の浦教会
(主任橋口朝
光神父)は、
復活の主日に
聖堂内陣両横
にステンドグ
ラスを設置、
除幕式を行っ
た。除幕は歴
代会長と今期

植松教会の
シンボルマーク
「舟」
進水

あります。昔は南蛮貿易
で栄えました。横瀬浦の
港や長崎港を開港したの
は、日本最初のキリシタ
ン大名・大村純忠でした。
今は長崎空港という空の
港にもなっています。
大村湾を26聖人も舟で
渡りました。たくさんの方



殉教者の遺骨も大村湾に
眠っています。
教会という舟にとつて
の大切な帆柱は十字架で
す。シンボルマークでは
UEMASUのTの字
を十字架としてあててい
ます。(植松教会だより
から抜粋)

平本義和神父、西田 満
吉野良介、松本佳代子、
松本裕子氏らが出演。脚
本は田中澄江、作曲新垣
壬敏、監修結城了悟、制
作企画野下千年、合唱指
揮・松川暢男、田代 悟
作家、音楽家、神父が名
を連ねる。

主の平安
カトリック式葬祭・飾付一式
(有) 栄光式典社
代表取締役 ヨハネ 西村 勇二
長崎市辻町7-18 TEL(095)844-4011
24時間営業 FAX(095)843-9896

車イスでお墓参り可 祈りの丘
祭壇前、規格墓碑一切(即納骨可) 210万円
小江原ニュータウン、夢が丘NT県道向かい、車50台以上
長崎大理石 (TEL) 095-839-0374
実績 城山教会墓地 飽の浦教会墓地
浜串教会墓地 青砂ヶ浦教会墓地 他 多数

(医) 外尾内科医院

院長 ベトロ 外尾 明利
〒857-1152 佐世保市黒髪町34-4
TEL 0956-33-5557

主の平安

株式会社 五島式典社(斎場) 五島中央会館
代表取締役 ヨセフ 浦 昭
五島市上大津町 1385 番地 1 TEL (0959) 74-5551
24時間営業 FAX (0959) 74-5552

みことばにふれて
中町教会学校スタッフ

忘れられない誕生日
「二人または三人がわ
たしの名によって集まる
ところには、わたしもそ
の中にいるのである」(マ
タイ18章20節)
マリアさまの月の5月
とロザリオの月の10月
は、教会で、毎日ロザリ
オの祈りが熱心にささげ
られています。

でしたが、その日は国民
の祝日。わたしは「ああ
今日は誰も来ないかも」
と思いながら、マリア像
の前のロウソクに火を付
けていました。すると、
6年生のMさんが「シス
タ、今日もあると？」
と入り口のドアを開けて
声をかけました。「ある
よ。一緒に祈ろう」「え？
わたし1人だけ」「1人で
もいいじゃない、ね」。
Mさんは重い足どりです

は「はあー終わった」と
大きなため息をつきまし
た。すると、お父さまが
「Mちゃん、今日は忘れ
られない誕生日になった
ね」とうれしそうに言わ
れました。わたしが「え、
今日はあなたの誕生日
だったの、おめでとう」
お父さんと一緒に祈りが
できて良かったね。マリ
アさまも、イエスさまも
喜んでくれるよ」と頭を撫
でながら言うと、ちよつ
と恥ずかしそうに首をす
くめていました。わたし
たちが祈りをささげ
ていたとき、そこに
イエスさまは共にい
てくださったのです。
そして、Mさんは
この小さなささげ物
が、大きな実り、喜
びにつながったこと
を、自分の身をもつ
て体験したのです。

1997年11月29・30
日長崎市公会堂で行われ
た「日本二十六聖人殉教
400年祭記念オペラ公
演」の主演、長崎市長
原、会社員草野洋介さん
(49)が4月7日死去、
8日城山教会で葬儀。告
別式が行われた。共
演者平本神父ら多数
が参列した。

草野さんは創作オ
ペラで主役ベトロ・
パプチスタ神父(十
字架上で磔に「写
真」を演じ、観衆に
感銘を与えた。配役
紹介のパンフレット
には、「わたしはキ
リスト信者ではない

の二十六聖人殉教400年祭
オペラの主役、草野氏死去

主役を演じる草野さん
は書物に触れる中カトリ
ックに関心を持ち、2
002年の復活祭に城山

教会で延代夫人と共に受
洗(ベトロ、セシリア)
した。

共演者の1人橋本神父
は「遺族に対しても、長
崎のカトリック教会に対
しても、そしてこのわた
しにとつても神さまはあ
まりにも重い奉獻を望ま
れたようです。オペラの
ラストシーンの十字架上
で氏が息絶えた後の闇の
中で響いた復活の「アレ
ルヤ」が鮮やかによみがえ
ってきます。安らかに」
友人の中山直人さん
(滑石教会所属)は「昨
年9月、列福式を前に聖
歌の合同練習中、気分が
悪くなり、その後、入院
生活が続き列福式の入場
カードも届けましたが、
病室で「参加」という本
人にとっては大変残念
だったと思います」。

聖パウロ生誕2000年記念
トルコ・アテネ・コリント・ローマ巡礼
～使徒パウロの足跡を訪ねる～
旅行期間：2009年7月20日(月)～31日(金)＜12日間＞
団 長：高見 三明大司教(長崎大司教区長)
旅行代金：498,000円
●コース：①成田→イスタンブール(2泊)②→アダナ～パウロ
の故郷タルソ～カッパドキア(泊)③→コンヤ(泊)④
～パウロの伝道したピシディアのアンテオケの遺跡～
パムカルレ(泊)⑤～パウロが告別の説教をしたミレ
トス～クシャダシ(泊)⑥→パウロも寄港したサモ
ス島→アテネ(泊)⑦→パウロの宣教師コリント→ア
テネ(泊)⑧→ローマ(2泊)⑨→(機内泊)⑩→成田
●食 事：朝10、昼9、夕9
●航空会社：アリタリア航空利用予定
添乗員同行、ホテルは4つ星クラス(一部3つ星、5つ星)
利用、食事回数に機内食は含みません、最少催行人員15名
※詳しいパンフレットをご用意しております。お気軽にご請求
ください。
旅行企画・実施
FAX パックス インターナショナル
〒104-0061 東京都中央区銀座1-6-11 土志田ビル6階
TEL 03-3561-0755 FAX 03-3561-0759